

結果の概要

平成19年10月1日現在における県内の医療施設総数は3,330施設で、そのうち「休止・1年以上休診中」の施設を除いた活動中の施設は3,284施設であり、以下の内容は「活動中の施設」について取りまとめたものである。

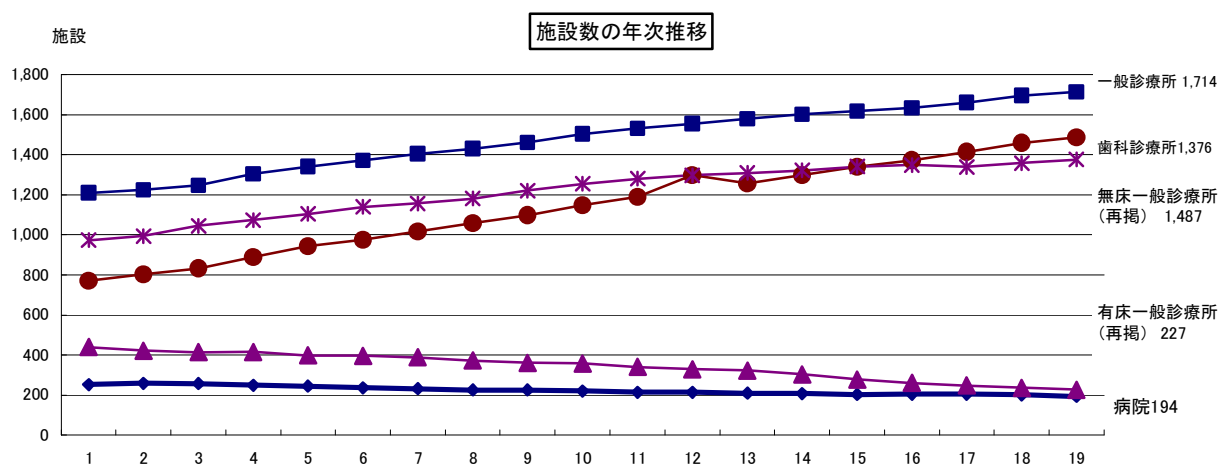
1 施設の種類の別みた施設数

病院は194施設で、前年に比べ7施設減少した。人口10万対では6.5で全国より0.4低く都道府県中第30位である。

療養病床を有する病院は90施設で前年より2施設減少。老人人口10万対では14.7で全国の15.1より低く、都道府県中第27位である。

一般診療所は1,714施設で、前年より18施設増加した。うち有床診療所は、227施設で13.2%を占めている。人口10万対施設数は57.7で、全国の77.9より低く都道府県中第45位である。

歯科診療所は1,376施設で、前年より18施設増加した。人口10万対では46.3で、全国の53.1より低く都道府県中第25位である。



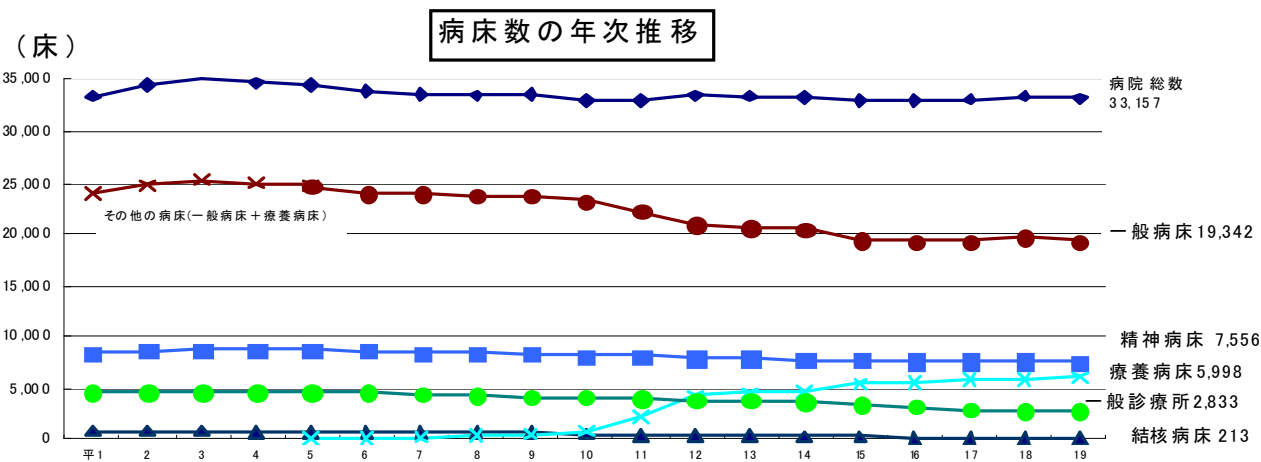
2 病床の種類の別みた病床数

病院の病床数は33,157床で、前年より284床減少した。人口10万対1,116.8で、前年を8.4ポイント下回った。全国の1,268.0より低く、全都道府県中第39位である。

一般病床は19,342床で、人口10万対651.5は全国の714.7より低く、全国39位である。

療養病床は5,998床で前年より90床増加した。老人人口10万対978.5で全国の1,250.4より低く、都道府県中第35位である。

一般診療所の病床は2,833床で、前年より5床減少した。人口10万対95.4で全国の121.4より低く、都道府県中第34位である。



3 病院の病床利用率

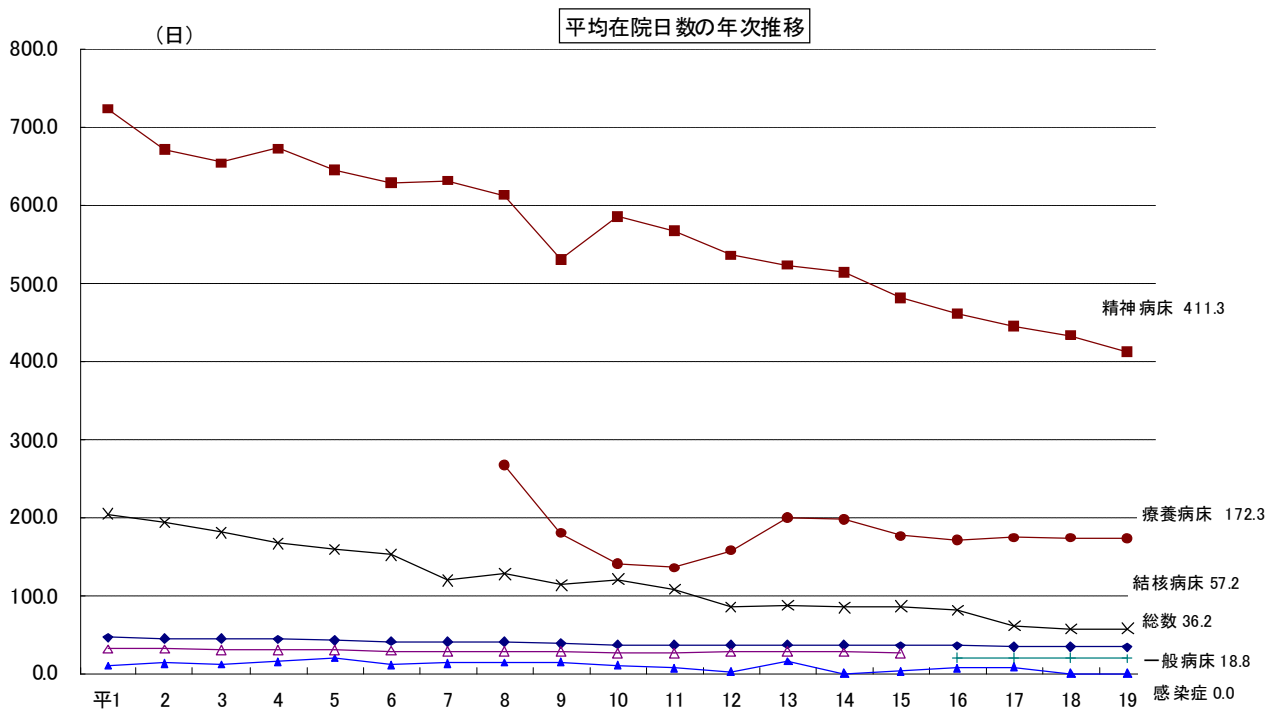
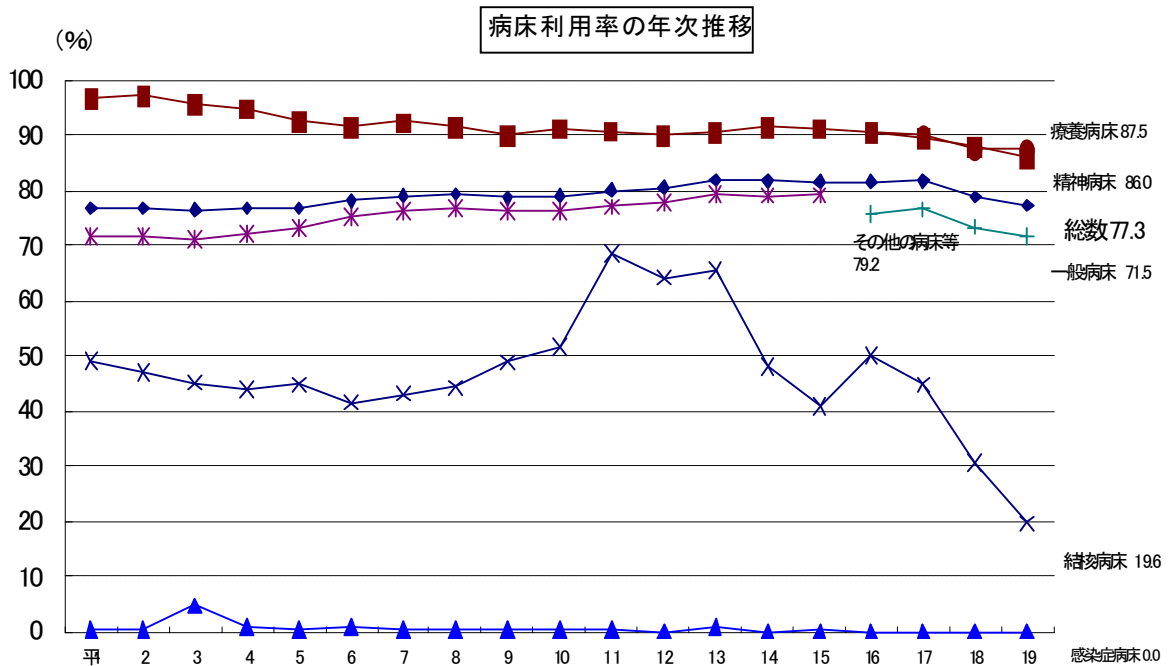
年平均病床利用率は77.3%で、前年より1.6%減少。

病床の種類別にみると、精神病床は86.0%、療養病床は87.9%、一般病床は71.5%である。

4 病院の平均在院日数

平均在院日数は33.2日で、前年に比べ0.4日短くなっている。

病床の種類別にみると、精神病床は411.3日、結核病床57.2日、療養病床は172.3日、一般病床は



18.8日である。